

## 令和2年度 第1回中野市立図書館協議会会議録

開催日時 令和2年8月25日(火) 午後4時00分から午後4時55分

開催場所 中野市立図書館 2階会議室

### 出席者

(委員)

加藤善彦委員、白井智子委員、丸山安則委員、小林俊郎委員、嶋田伸次委員、湯本正博委員、内堀さみ江委員、郷道哲章委員、高野澄江委員

(事務局 市立図書館)

池田館長、竹内副館長、小林主幹、北原副主幹

### 欠席者

岩戸貞彦委員

### 会議内容

1 開会 竹内副館長

2 あいさつ 池田館長

3 自己紹介

4 会議事項

(図書館条例第9条第1項の規定により、会長が選出されるまでの間、内堀会長代理が議長を務める。)

(1) 会長の互選について

- ・事務局から会長の選出方法について説明
- ・会長には丸山安則委員を選出

(以降、丸山会長が議事進行する。)

(2) 令和元年度市立図書館事業報告について (P 1、2 資料1、2、3、4)

質問なし

(3) 令和2年度市立図書館の運営について（P 3、4、5）

質問なし

(4) 市立図書館総合管理業務委託について（P 6 資料5）

（市立図書館総合管理業務委託における質疑）

委員： 来年度以降の業務委託で、図書館運営において良い効果があらわれているとのことだが、具体的にはどのようなことか。

事務局： 今までは臨時職員であり、市職員の補助的な職員であったが、委託してからは民間企業の社員として、主体的に対応していただいている。

また、市の正規職員を一人減員することができ、市全体としての人員配置の適正化が図られた。

事務局： 岩野商会で職員教育を実施していることもあり、クレームが少なくなっており利用者からの評判は良い。

従業員から展示物等のアイデアを出してもらっており、また、イベント、講座についても新しいものを企画、検討していただいている。

委員： 岩野商会の司書資格の取得方法と、司書職員の人数は何人か。

事務局： 通信教育などで取得をしており、現在5人の司書職員がいる。

委員： 学校図書館についてツタヤで受託するという噂があるようであるが本当か。

事務局： プロジェクトチームで検討しているところであるが、理事者への報告はまだであり、現在、検討中である。

委員： 学校図書館と市立図書館が同じ業者であれば、連携することができると思うが。

事務局： 学校図書館も別契約で岩野商会と契約しており、同じ岩野商会の職員なので、運営や悩みの相談など意見交換等を実施している。

また、ツタヤ図書館については、地域おこし協力隊の発案で市街地の活性化も含めて市内部のプロジェクトチームで検討しているところである。

事務局： プロジェクトチームは、学校図書館でなく、市立図書館で検討しているところである。

(5) その他について

事務局から新型コロナウイルス感染症に係る閉館等の状況を説明。

質問なし。

## 5 その他

(その他における質疑)

委員： 三小学校が廃校となったときの本はどうしたか。

事務局： すべて図書館で受け入れて、どこでも図書館として、現在、放課後児童クラブ 10 箇所、保育園 5 箇所へ配本をしたところである。

また、郷土資料は別枠で保存していく方針である。

事務局： 学校で必要な本はあらかじめ抜いて保管している。

委員： 本が傷められるのはどのような場合か。また、不明本の推移の状況はどうか。

事務局： 不注意で例えばコーヒーをこぼす。子ども、ペットが汚してしまうなどがある。

1年目は不明図書が多いが、蔵書整理をすると返ってきている本があるので、2年目以降は少なくなる。不明本を防ぐには予算が必要になる。

事務局： 予算が必要になるというのは、例えば本にタグを付ける方法があるが、27万冊すべてにタグを付けると経費的に高くなってしまう。

## 6 閉会 午後4時55分